

校舎改築に伴う プラタナス(すずかけ)・イチョウの取り扱いについて (校舎改築検討委員会・竣工記念式典実行委員会からの報告)

平成22年12月

検討委員代表(委員20名)

仙台市立荒町小学校長
荒町小同窓会長(記念式典実行委員長)
同 P T A会長
荒町地区連合町内会会長
五橋地区連合町内会会長
荒町学区民体育振興会会長
荒町商店街振興組合理事長
愛宕商栄会会長
荒町地区防犯協会防犯指導隊理事



晩秋の候 皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
さて、皆様の温かいご理解とご協力により、校舎の改築並びにその
関連工事が順調に進んでおりますことに、心より御礼を申し上げます。
お陰をもちまして旧校舎の解体が無事に終了し、現在は校庭・校地
の整備に入っているところです。

さて、3年前の校舎改築検討委員会の最終意見(裏面参照)では、校
庭中央のイチョウの木は中が空洞になっていて危険なために伐採する
ことが決まっています。また、プラタナス(すずかけ)については、新校舎が完成し校庭整備にかかる
際に、教育上の支障はないか、倒木の危険性はないかなどを再度慎重に検討して結論を得ることとな
っておりました。



すずかけ若木(H22.10.12)

これを受けて、今年度6回にわたり検討を重ねてまいりましたところ、以下のようにまとまりましたので、お知らせいたします。

プラタナス(すずかけ)については、以下の理由によりやむを得ず伐採しますが、次世代の木を育てていくこととします。

- 1 トラックのラインぎりぎりにそびえていることから、運動時の安全に問題があること。
- 2 サッカーやソフトボールなど指導要領に示された運動が十分にできないこと。
- 3 毎年、蜂が10メートルほどの高さに巣をかけ、危険であること。駆除が困難であること。
- 4 毎年、大量の花粉状の飛散物があり、咳き込むなどの健康被害が出ていること。
- 5 暗渠排水工事に当たり、根が張りすぎて、排水効果に支障をきたすこと。

現在、荒町小学校では、次世代のプラタナスを5本育てております。

なお、伐採の前には、「お別れ会」を開催する予定です。

ご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。